

第12回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (2023.09.19時点)

セッション名	演題番号	演者		演題名	オンデマンド配信
大会長講演		児玉	直樹	認知症の早期発見と予防への取り組み ～超高齢社会に必要なヘルスケア～	○
理事長講演		浦上	克哉	認知症基本法の成立を受けて日本認知症予防学会が取り組むべき課題	○
特別講演1		西澤	正豊	認知症ケアにおける多職種協働	○
特別講演2		池内	健	認知症予防に血液バイオマーカーをどのように役立てるか	×
特別講演3		畦元	将吾	認知症施策への取り組みと将来	○
教育講演1		佐野	英孝	新潟市における地域連携・多職種協働	○
教育講演2		井上	達朗	フレイル・サルコペニア高齢者に対する運動介入のcurrent topics	○
教育講演3		小野寺	理	サルコペニア・フレイルの視点からの認知症	○
教育講演4		磯	忍	アクティビティ・ケアの事例から考える認知症予防	○
教育講演5		小野	賢二郎	アルツハイマー病の疾患修飾薬の現状と展望	×
教育講演6		長谷川	清	脳活動を簡単計測、脳の健康に貢献する最先端技術	○
教育講演7		川瀬	裕士	医師がどのように認知症診療を行っているか	○
教育講演8		杉山	美香	認知症があってもなくても～認知症を地域で支えるためのコミュニティ参加型研究 (Community-based participatory research) ～	○
シンポジウム1	S1-1	木村	成志	実臨床における血液バイオマーカーを活用したアルツハイマー病の診断ワークフロー構築	○
シンポジウム1	S1-2	大武	美保子	認知症予防とAI	○
シンポジウム1	S1-3	片山	禎夫	認知機能低下に対する、現在の治療、これからの治療	○
シンポジウム2	S2-1	土井	剛彦	理学療法士による認知症予防へのアプローチ	○
シンポジウム2	S2-2	小林	毅	認知症の人々の“予防”を考える－作業療法(士)の役割－	○
シンポジウム2	S2-3	市川	勝	認知症予防における言語聴覚士の取り組みと可能性	○
シンポジウム3	S3-1	小野	賢二郎	アルツハイマー病治療戦略のフロントライン：アミロイドβ抗体療法	×
シンポジウム3	S3-2	景山	裕介	毒性アミロイドβの立体構造に立脚した抗体開発	○
シンポジウム3	S3-3	石垣	診祐	神経変性疾患の分子病態に基づいた診断・予防薬開発	○
シンポジウム3	S3-4	矢内	凜	タウを標的とした診断・治療に資する新規モデルマウスの作出	○
シンポジウム4	S4-1	高村	好実	認知症予防への新たなステップー認知症予防専門臨床検査技師の新設	○
シンポジウム4	S4-2	浦上	克哉	認知症予防専門臨床検査技師に認知症予防の中で期待すること	○
シンポジウム4	S4-3	松熊	美千代	認知症予防に関する臨床検査技師の活動事例の創出に向けて 現在の日臨技 認定認知症領域検査技師制度での活動	○
シンポジウム5	S5-1	太田	康之	MCIとは	○
シンポジウム5	S5-2	木村	成志	MCI診療における画像検査およびバイオマーカー	○
シンポジウム5	S5-3	櫻井	孝	MCIの非薬物療法 ～J-MINT研究のエビデンス～	×
シンポジウム5	S5-4	浦上	克哉	認知症予防専門医に求められるMCI診断後支援	○
シンポジウム6	S6-1	小杉	尚子	最新のICT技術を用いた新しい音楽療法	○
シンポジウム6	S6-2	當山	房子	日本の最南端沖縄県石垣島での遠隔音楽療法の先駆的な取り組みに参加して	○
シンポジウム6	S6-3	管谷	由紀子	デイサービスにおける遠隔音楽療法導入による利用者・職員の好反応と今後の期待	○
シンポジウム6	S6-4	相川	直子	遠隔音楽療法(RMT)を身近に活用することで広がる世界	○
シンポジウム7	S7-1	山田	武志	薬剤師が取り組むべき認知症予防における実情と課題	○
シンポジウム7	S7-2	宮野	廣美	多職種連携における実際の取り組み	×
シンポジウム7	S7-3	木曾	江律子	介護支援専門員が期待する認知症予防への薬剤師の関わり	○
シンポジウム7	S7-4	飯田	康江	在宅での薬剤管理にかかわる多職種と薬剤師との連携	○
シンポジウム8	S8-1	佐治	直樹	食と腸内細菌から展望する認知症予防	○
シンポジウム8	S8-2	宮田	聖子	ライフサイクルと睡眠障害 -認知症予防-	○
シンポジウム8	S8-3	鈴木	宏幸	認知的予備力仮説に基づく生涯学習型認知症予防プログラム	○
シンポジウム8	S8-4	谷	都美子	認知機能に及ぼす化粧美容セラピーの有用性	○
シンポジウム8	S8-5	櫻井	孝	高齢者糖尿病における認知症予防を目指した多因子介入研究	×
シンポジウム9	S9-1	篠原	もえ子	食品・栄養による認知症予防	○
シンポジウム9	S9-2	小原	知之	認知症の発症リスクを修飾する因子について	○
シンポジウム9	S9-3	中村	博幸	健常高齢者への歯科口腔保健の介入と認知症リスク低減	○
シンポジウム9	S9-4	粟田	圭一	認知症のリスク・リダクションの社会実装：研究データをリアルワールドに適用する場合の問題点	○
シンポジウム10	S10-1	工藤	正幸	自然画像とAIを活用した統合認知評価ツールのご紹介	×
シンポジウム10	S10-2	徳本	直紀	認知症の早期予防に向けた、AIの社会実装とブレインヘルスケアの取り組み	○
シンポジウム10	S10-3	唐木	信太郎	視線追跡型VR機器を用いた認知機能評価プログラム	×
シンポジウム11	S11-1	荒井	秀典	日本サルコペニア・フレイル学会が目指すもの	○
シンポジウム11	S11-2	浦上	克哉	日本認知症予防学会の果たすべき役割と日本サルコペニア・フレイル学会との合同シンポジウムへの期待	○
シンポジウム11	S11-3	神崎	恒一	軽度認知障害と身体的フレイルを合併した患者の臨床的特徴	×
シンポジウム11	S11-4	島田	裕之	社会的フレイルと機能低下	○
シンポジウム11	S11-5	櫻井	孝	認知症とフレイル予防の多因子介入研究と社会実装	×

第12回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (2023.09.19時点)

セッション名	演題 番号	演者		演題名	オンデマンド 配信
シンポジウム12	S12-1	鈴木	正彦	コロナ禍における東京都支部の活動報告	○
シンポジウム12	S12-2	荒川	千晶	Web講演会、支部会報、支部学術集会についての報告	○
シンポジウム12	S12-3	大津	陽子	都心での認知症カフェ開催報告	○
シンポジウム12	S12-4	國枝	洋太	認知症予防におけるリハビリテーション専門職の役割と可能性	×
シンポジウム12	S12-5	松熊	美千代	臨床検査技師の認知症予防における役割	○
シンポジウム13	S13-1	諏訪	幹夫	森林空間を利用した心身の健康づくりに向けて	○
シンポジウム13	S13-2	住友	和弘	森林環境は認知症予防に有効なのか？	○
シンポジウム13	S13-3	郡司	聖	森林環境下での運動療法の有効性	○
シンポジウム13	S13-4	及川	結	認知症予防への効果と安全性を踏まえた森林を活用したプログラムの提案	○
ダンスプログラム		利根川	久女紅	ダンス療法『ハートフル・コグニダンス [®] 』	×
市民公開講座	基調講演	浦上	克哉	※演題名はなし 認知症予防学会果たすべき役割や今後についてのお話	×
市民公開講座	特別講演1	成瀬	聡	※演題名はなし 新潟市の認知症施策や認知症予防についてのお話	×
市民公開講座	特別講演2	徳光	和夫	※演題名はなし 自由にお話いただく。	×
ランチョンセミナー1		浦上	克哉	認知症の一次予防から三次予防までを支える仕組み	×
ランチョンセミナー2		櫻井	孝	認知症予防を目指した多因子介入研究 (J-MINT) の成果と今後の展望	×
ランチョンセミナー3		児玉	直樹	認知症予防フレンド養成講座および介護セミナーの展開と社会への貢献	○
ランチョンセミナー3		鬼頭	哲也	認知症に関する先進的なヘルスケアサービスの提供を通じて、社会との共通価値を創造し地域社会に貢献	○
ランチョンセミナー4		浦上	克哉	疾患修飾薬による治療を見据えた嗅覚機能スクリーニング	×
ランチョンセミナー5		二宮	利治	認知症発症のリスク低減における生活習慣病予防および運動機能維持の重要性：久山町研究	×
ランチョンセミナー6		富田	尚希	高齢期認知症の早期診断の重要性と臨床実践	×

第12回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (2023.09.19時点)

セッション名	演題番号	演者	演題名	オンデマンド配信
□演1	01-1	篠原 もえ子	地域高齢者における運動習慣定着の認知症予防効果検証	○
□演1	01-2	大木 雅隆	地域在住高齢者のバランス機能と認知機能との関連について	×
□演1	01-3	菅原 利之	認知症予防のための身体機能改善方法	○
□演1	01-4	利根川 久女紅	『ダンス療法 ハートフル・コグニダンス』～あなたの♥を動きで表現 ～仲間の♥を元気に 多職種だからできる！	○
□演1	01-5	五月女 美幸	「ダンス療法」継続による認知症予防効果の有効性の検討	○
□演1	01-6	塩田 智	もの忘れ外来を受診した地域高齢住民における認知機能と運動機能に関する検討	○
□演1	01-7	沖 侑太郎	非薬物療法による多因子介入が認知機能に与える影響-デジタルデバイスによる評価: ランダム化比較試験 (J-MINT PRIME Tamba) -	○
□演1	01-8	雫 裕子	介護老人保健施設での集団体操における多職種連携～協働による対象者の参加意欲向上と習慣化を目指して～	○
□演1	01-9	黒田 佑次郎	地域在住高齢者を対象とした多因子介入による認知症予防プログラムの実現可能性の検討	○
□演1	01-10	久徳 弓子	認知症予防における課題～地域の人々をどのように認知症診療につなげるか～	○
□演2	02-1	山川 直樹	多職種連携による認知症予防の仕組みづくり ～暮らしの保健室での活動経験から～	○
□演2	02-2	森永 ゆりこ	記憶障害からBPSDが出現している入院患者へのアプローチ-メモリーノートを用いたの統一対応-	○
□演2	02-3	木村 圭佑	被害妄想を呈し、転倒を繰り返した事例に対し、多職種協働による介入が奏功した一例について	○
□演2	02-4	杉山 美香	郵送調査未返送者で介護保険サービス未利用の要介護認定者への訪問調査と多職種協働～認知症等高齢者の困難事例化予防にむけて～	○
□演2	02-5	大川 元久	認知症患者の生活環境への多職種介入の事例報告	○
□演2	02-6	日和田 正俊	地域包括ケアシステムにおける認知症疾患医療センターの存在価値とは～多職種協働でみえてきた地域連携の在り方～	○
□演2	02-7	辻 正純	認知症診療における医療相談員 (MSW)の役割	○
□演2	02-8	武嶋 佑果	当院での認知症予防活動の取り組みについて	○
□演2	02-9	山本 智美	孤発性クワイツフェルト・ヤコブ病の症状の変化に応じた看護アプローチの1事例	○
□演2	02-10	片山 雅史	医療系大学生の認知症に対する意識について	○
□演3	03-1	斎藤 望	軽度認知障害 (MCI) の本人と家族がともに歩むことの支援とは	○
□演3	03-2	神谷 正樹	軽度認知障害およびアルツハイマー型認知症者におけるリハビリテーションプログラム施行時の感情推定に関する探索的検討	○
□演3	03-3	濱村 愛海	独居の認知症高齢者に対して通所リハビリテーションが担う役割 ～認知症短期集中リハビリテーションと社会参加～	○
□演3	03-4	稲田 秀樹	認知症の人が地域貢献活動を行うワーキングデイサービスの参加状況と実践を通じて考える	○
□演3	03-5	菅谷 由紀子	デイサービスにおける口腔・嚥下機能障害へのアプローチ～注意障害がある方への認知症ケアとしての取り組み	○
□演3	03-6	取り下げ		×
□演3	03-7	三ツ星 紀子	骨折後リハビリテーションの種類により高齢者の脳活動はどのような差が生じるか	○
□演3	03-8	伊藤 米美	「共生と予防のまちづくり」を目指し、地域で支援者をつくる「認知症サポーター実践講座」を取り組んで	○
□演3	03-9	保母 恵	地域住民による認知症予防活動の再開に向けた課題	×
□演3	03-10	磯 忍	高齢者が楽しく参加できる地域サロンとしての「おもちゃの広場」の開催	○
□演4	04-1	安藤 研介	アルコール多飲により転倒し、右大腿骨頸部骨折 (THA) 術後アルコール離脱せん妄が発現し、生命危機に陥りICU管理となったMCI症例	×
□演4	04-2	林 博史	軽度認知障害に対するコンピューターを活用した認知トレーニングのバイオマーカーへの影響: a scoping review	×
□演4	04-3	大川内 真甫	もの忘れ外来初診時から継続する支援～若年性認知症患者の事例を通して～	○
□演4	04-4	中瀬 泰然	アルツハイマー型認知症の悪化に関与する糖尿病の影響について	○
□演4	04-5	小西 吉裕	患者由来の培養皮膚線維芽細胞を用いたアルツハイマー病バイオマーカーの有用性～とくに混合型認知症において～	○
□演4	04-6	木村 哲晃	日本人集団で見つかったレビー-小体型認知症に関連するMFSD3多型の機能解析	○
□演4	04-7	武田 祥也	若年者と高齢者における睡眠と脳活動	×
□演4	04-8	倉津 諒大	地域在住高齢者における身体機能と認知機能との関連について <～教育歴による差異～>	○
□演4	04-9	進藤 由美	市町村職員における認知症予防に資する取組・事業の把握状況～人口規模や事業担当部署、連携状況が及ぼす影響～	○
□演4	04-10	和泉 紀彦	認知症の「予防」からみた認知症初期集中支援チームのあり方を考える	○
□演5	05-1	松田 智夫	認知症予防のデジタル治療器具-LCDサングラス(第3報)	○
□演5	05-2	丸山 ゆかり	デイサービスにおける臨床美術プログラムの言語的アプローチ	○
□演5	05-3	近藤 瑛佑	コロナ感染症クラスター時の電子楽器演奏による音楽療法	○
□演5	05-4	豊田 正博	“行きがいの”創出から認知症対応型デイサービス利用者の自律と重度化抑制をめざす園芸療法プログラムの開発	×
□演5	05-5	河野 啓一	認知機能低下血液透析患者に行った非薬物療法の認知機能改善効果	○
□演5	05-6	長谷 芳樹	40Hz変調を施したガンマ波サウンドを取り入れた音楽療法プログラムの提案	○
□演5	05-7	富加見 直広	懐かしい画像とライブレビューにおける認知症予防の試み	○
□演5	05-8	後藤 良太	園芸活動を介した関わりによって離床意欲、認知機能が改善した症例について	○
□演5	05-9	長谷 芳樹	認知症予防のためのテレビ利用の可能性 ～ 変調音聴取によるガンマ波の同期	○
□演5	05-10	高橋 洋樹	メディカル脳活マッサージによる触覚刺激が認知機能に与える影響 (非薬物療法)	×
□演6	06-1	田崎 史江	地域在住後期高齢者の園芸時間と心身機能との関連	○
□演6	06-2	峰村 直樹	一般介護予防事業参加者を対象とした「日常の聴こえ」のアンケート調査と語音聴取能力との関連性について	○
□演6	06-3	佐々木 啓	手書きとスマートフォン入力での脳血流量の違いと認知症予防の可能性	○
□演6	06-4	久保田 進子	高齢者の認知機能向上に及ぼす音楽療法の効果 ー高齢者施設における検証ー	○
□演6	06-5	市川 真那人	ASMR動画視聴時の脳の活動部位の違いと認知症予防への可能性	○
□演6	06-6	川村 瞭	短時間のパズル課題が認知機能にもたらす効果	○
□演6	06-7	上野 節子	認知症予防における頭痛患者へのアロマテラピー	○
□演6	06-8	木下 徹	ユビキノール(還元型コエンザイムQ10)の長期摂取による認知機能への効果の検証	○
□演6	06-9	谷 文乃	認知症予防活動を通じて、見えてきた病院管理栄養士の役割と課題	×
□演6	06-10	石毛 和也	ウリジル酸Naの摂取が健常な中高齢者の認知機能に及ぼす効果 ーランダム化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験ー	○

第12回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (2023.09.19時点)

セッション名	演題番号	演者	演題名	オンデマンド配信
口演7	07-1	佐藤 美果	認知症高齢者における臨床症状に関連する大脳皮質領域の検討	○
口演7	07-2	米田 哲也	早期認知機能変化を予測可能なMRI技術の開発	○
口演7	07-3	山川 明子	RNA-seq データ解析に基づく軽度認知機能障害からアルツハイマー型認知症への移行に関与する血液バイオマーカーの探索	×
口演7	07-4	松山 賢一	当院における高齢者の電気けいれん療法の実状	○
口演7	07-5	小林 直人	MCILレベルの高齢者うつ病に対するポリオキサセチンの有用性～認知機能・神経保護に対する期待～	○
口演7	07-6	居倉 大輔	折り紙を用いた認知機能レベル別の作業特性についての考察～折り紙は認知機能スクリーニングになりうるか～	○
口演7	07-7	出口 悠	身体機能・認知症予防を目的としたサロン活動と認知機能の関連性	○
口演7	07-8	田中 繁弥	Trail making test課題遂行時の筆圧と認知機能の関連	×
口演7	07-9	松原 ちはる	諏訪赤十字病院における認知症治療薬の処方用量に関する調査	○
口演7	07-10	長濱 道治	認知症における不定愁訴としての夜間頻尿に対する八味地黄丸の使用経験	○
口演8	08-1	大石 美鈴	fMRIを用いた表情と認知機能の関係の研究	○
口演8	08-2	川崎 裕樹	f-MRIを用いたタイボグリセミア現象による脳賦活部位の同定	×
口演8	08-3	高橋 壮	ストール効果と逆ストール効果及び言語の違いによる脳へのストレス	×
口演8	08-4	宮原 祥子	臨床衛生検査技師会による世界アルツハイマー月間を中心とした認知症予防啓発の取り組み	○
口演8	08-5	湯口 志捺	色の違いによる脳機能メカニズムの解明	○
口演8	08-6	福田 敏秀	認知症対応型共同生活介護事業所の管理者業務に関する一考察	○
口演8	08-7	北島 春菜	軽度認知機能低下症例のFrontal Assessment Battery(FAB)と脳血流SPECTとの関連性について	○
口演8	08-8	古和 久朋	一般高齢者の認知機能評価ツールとしてのSAMSの有用性	○
口演8	08-9	井手 芳彦	Trail Making Test (TMT) は街中での地域住民の認知機能スクリーニングに有用か？	○
口演8	08-10	澤田 浩秀	遺伝子ノックイン法により作成したハンチントン病モデルマウスにおける脳神経系の異常	○
口演9	09-1	高橋 洋樹	メディカル脳活マッサージによる触覚刺激が認知機能に与える影響 (認知症予防教室・運転)	×
口演9	09-2	佐々木 努	千歳市高齢ドライバーサポート事業が高齢者の意識と行動変容に与える影響	○
口演9	09-3	小玉 鮎人	秋田県在住高齢者における運転リスクチェックリスト25を活用した、運転リスク要因解明のパイロットスタディ	○
口演9	09-4	中村 拓司	秋田県における高齢運転者の運転寿命延伸を図る先進モデル創出のためのパイロット研究	○
口演9	09-5	鈴木 美緒	高齢ドライバーの運転によるストレスの発現とその特性	○
口演9	09-6	平塚 喜之	高齢ドライバーの身体機能と運転評価の関連性	○
口演9	09-7	並木 靖幸	運転評価に対する認知機能スコアと認知症予防ゲームスコアの相違	○
口演9	09-8	堀川 悦夫	実車運転評価における車両挙動解析の問題点の検討	○
口演10	010-1	藤田 高史	TV電話を用いた遠隔からのフレイル予防効果の検討 -若年層を対象とした予備実験-	○
口演10	010-2	片寄 亮	認知機能低下者における体重減少は新規要介護認定を加速させる可能性：9年間のコホート研究 (Kami-study)	○
口演10	010-3	山本 進治	CD患者の認知症予防に向けた腸腰筋の検討	○
口演10	010-4	田中 早貴	認知機能低下を認める地域在住高齢者の家族形態は新規要介護発生に影響するの？；9年間のコホート研究(Kami-study)	○
口演10	010-5	嶋村 空良	地域在住高齢女性における居住年数と地域活動状況が認知機能低下に与える影響：4年間の縦断研究 (Kami-study)	○
口演11	011-1	生土 豪	認知機能低下と嚥下障害との関係	○
口演11	011-2	小井手 美穂	通所介護における視覚障がい者が取り組むアクティビティ活動の考察	○
口演11	011-3	内田 一彰	軽度認知障害を有する高齢者における視機能とフレイル関連機能の関連	○
口演11	011-4	吉武 亜紀	認知機能が低下し始めた高齢者の「働く」を支援する～就労継続に関連する要因に関する考察～	×
口演11	011-5	三品 雅洋	COVID-19入院患者における認知症ケア加算対象者の割合の変化	○
口演12	012-1	今岡 真和	地域在住高齢者のデジタルリテラシーと認知機能、身体機能の関連について	○
口演12	012-2	黒田 岳志	人工知能を用いた会話の音声解析による認知機能スクリーニングの有用性の検討	○
口演12	012-3	榊原 佑奈	脳波と楽曲特徴により懐かしさ喚起を最大化する個人最適化自動選曲アルゴリズムが自伝的記憶の再生に及ぼす効果	○
口演12	012-4	取り下げ		×
口演12	012-5	守山 正樹	画像生成AIの支援で、記憶の中に入り込み、過去を探検する塗り絵の開発	○
口演13	013-1	市川 大介	病棟配置薬の整備による入院患者への睡眠薬適正使用の取り組み	○
口演13	013-2	大類 淳矢	地域在住高齢者の健康状態には作業参加や社会的ネットワーク、移動機能が影響を与える	○
口演13	013-3	村山 洋史	高齢期の社会的孤立が脳容積に及ぼす影響：NEIGE Study	○
口演13	013-4	河月 稔	主観的認知機能低下者における情報通信サービス活用の状況やニーズの分析	○
口演14	014-1	岡藤 農	認知症カフェにおけるフレイル対策	○
口演14	014-2	土肥 敏博	対人援助看護きんさいカフェ呉「あがりんさい」プログラムの開発	○
口演14	014-3	飯田 聖子	郵送で行う介護予防事業の評価と報告～コロナ禍での新たな取り組み～	○
口演14	014-4	阿部 巧	地域包括支援センターにおける認知機能評価の実態把握と認知機能低下者スクリーニングモデルの適用可能性：IRIDE Cohort Study	×

第12回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (2023.09.19時点)

セッション名	演題番号	演者	演題名	オンデマンド配信
ポスター1	P1-1	藪脇 健司	軽度認知障害の認知機能に影響する環境要因や身体活動量の経時的変化 - 潜在曲線モデルを用いた比較検討	○
ポスター1	P1-2	川井 元晴	脳神経内科もの忘れ外来における軽度認知障害の受診状況	○
ポスター1	P1-3	笠原 浩生	オートファジー関連蛋白ATG9Aとタウ蛋白の関連についての検討	○
ポスター1	P1-4	武久 康	視神経脊髄炎スペクトラム障害患者のCogEvalによる脳機能評価と脳MRIでの萎縮の関連について	○
ポスター1	P1-5	取り下げ		×
ポスター1	P1-6	兼田 絵美	軽度認知障害高齢者の居場所づくりを目的とした認知症予防プログラムの試み	×
ポスター1	P1-7	木宮 高代	地域で生活する高齢者のフレイル予防への関心	○
ポスター1	P1-8	佐藤 守一	嗅覚検査データと下位項目を含む認知機能検査データの関連性検討	○
ポスター2	P2-1	山崎 未祥	軽度の認知機能障害を持つ高齢者とのコミュニケーションにおいて病棟看護師が意識している内容	○
ポスター2	P2-2	西田 隆宏	要支援サービス利用者の重度化の要因-男女別の手動的日常生活動作の観点から-	○
ポスター2	P2-3	中山 寛人	認知症カフェとの連携にて受診に至った認知症初期集中支援チーム介入事例	○
ポスター2	P2-4	田中 久絵	多職種別での身体拘束に対する意識調査	○
ポスター2	P2-5	鶴飼 克行	当科もの忘れ外来における認知症看護認定看護師の役割と重要性	○
ポスター2	P2-6	谷口 圭佑	地域在住高齢者の閉じこもりと空間認知能力の関連性について～時計描写テストを用いた検討～	○
ポスター3	P3-1	山本 泰司	鑑別診断に苦慮した認知症の家族歴を有する遷延性抑うつ状態の50歳代女性の病状経過と認知症精査結果の有用性に関する考察	○
ポスター3	P3-2	永田 映子	コロナ禍における会話支援技術共想法の介護施設における実践：通所者と入居者の認知機能と満足度に関する考察	○
ポスター3	P3-3	堀 裕子	向老期女性の認知症に対する認識～予防行動への取り組みに着目して～	○
ポスター3	P3-4	鈴木 宏幸	軽度認知障害（MCI）スクリーニング検査モデル事業参加者における認知症共生意識の関連要因（1）生活機能に関する検討	○
ポスター3	P3-5	山城 大地	軽度認知障害（MCI）スクリーニング検査モデル事業参加者における認知症共生意識の関連要因（2）社会参加の状況に着目した検討	○
ポスター3	P3-6	高橋 佳史	社会参加と人物情報に対する記憶想起の精度の関連	×
ポスター3	P3-7	坂本 晴美	地域在住高齢者における時計描写テストの有用性～MoCA-J得点との関連性からの検討～	○
ポスター3	P3-8	伊佐 美和	在宅認知症患者における服薬管理により副作用を早期発見・問題解決に繋がった症例	○
ポスター3	P3-9	高橋 真悟	指タッピングおよびNIRSを用いたニューロフィードバック法の提案	×
ポスター4	P4-1	松村 愛	認知症の診断告知が家族に与える影響と家族が必要とする支援	○
ポスター4	P4-2	宮本 菜々恵	認知症高齢者の家族介護者の日常生活におけるふれあいの実態	○
ポスター4	P4-3	稲橋 秀樹	ひととき相談会の開催に向けて～＜生活のしやすさ＞を共に考える認知症予防相談会の試み～	○
ポスター4	P4-4	有働 麗	認知症動画研修と認知症に対する意識調査	○
ポスター4	P4-5	白井 ひろ子	認知症に関連した国内外におけるシミュレーション教育に関する文献検討	×
ポスター4	P4-6	涌谷 陽介	運転免許を返納するときの患者の心情に関する考察-具体的事例を通して-	×
ポスター4	P4-7	大沢 恭子	悪性症候群発症後、新型コロナウイルス感染症に罹患し緩和ケアチームで支援したがん患者	○
ポスター4	P4-8	藤坂 由佳	当院に入院した高齢結核患者における受診まで遅れの現状	×